

# まなびのコース

## マークのご案内



「託児付講座」を用意しています。

原則2歳6ヵ月以上の未就学児をお預かりしますので、子育て中のお母さん方のご参加をお待ちしています。

なお、お子様連れでの受講はできませんのでご了承ください。

きほんの講座 ①-1 一般募集 20名

## ◆カレッジデビュー講座

**主題** まなびのコース1年生向けのおすすめ講座です。地域のこと、文化・芸術、現代課題など・・・それぞれの分野で活躍する方を講師に迎えオムニバス形式でお届けします。これまで苦手意識を持っていたり、触れるチャンスがなかった分野に接する良い機会です。ご自身の新たな一面を発見してみませんか？

講座番号 ①-1

時間：午後6時30分～8時

※第3回は午後6時30分～8時30分

場所：築地社会教育会館

回数：5回 受講料：1,500円

定員：50名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/ 8 (木)	<地域を知る> 大店(オオダナ)から吉原まで～日本橋の昔と今～	菊地 ひと美
第2回	9/22 (木)	<地域を知る・文化> 和の香ワンダーランド～その素晴らしい文化の再発見～	稲坂 良弘
第3回	10/ 6 (木)	<現代課題・時事> 震災報道とメディアの役割～新聞とテレビの報道～	朝日新聞社社員& テレビ朝日社員
第4回	10/20 (木)	<美術・鑑賞解説> フランス美術へのご招待～ドラクロワから印象派へ	大野 芳材
第5回	11/17 (木)	<芸術・音楽鑑賞> レクチャーライブ～ジャズの楽しみ方～(仮称)	ピアノ:羽仁 知治 <small>ほか</small>

## 講師紹介

### 菊地 ひと美 (きくち ひとみ)

江戸著者・日本画家。国立劇場から制作依頼の「絵巻4巻」は海外2カ国の国立美術館で展覧。丸善本展にて初披露。日本橋再開発の際起用された絵は、現在、江戸東京博物館の正門前に「江戸日本橋絵巻」30m展覧中。著書は『お江戸の結婚』(三省堂)、『江戸おしゃれ絵図』(講談社)など。

### 稲坂 良弘 (いなさか よしひろ)

香司「銀座香十」代表・劇作家。日本橋の小・中学校～早稲田大学卒。劇団文学座(研究所三期)を経て、脚本作家としてテレビ・舞台に約25,000枚執筆。1982年、ニューヨーク国連本部大ホールにおける日本の「香道」実演紹介の構成演出。続いて米国各大学巡演。フランスから南米ブラジル、アルゼンチンへと続く。数々の講演、体験講座が人気を博している。

### 朝日新聞社社員&テレビ朝日社員

東日本大震災で、メディアはどのような役割を果たしたのでしょうか。朝日新聞社社員とテレビ朝日社員が「新聞とテレビの報道」について話し、会場の皆さんと一緒にメディアについて考えたいと思います。

### 大野 芳材 (おおの よしき)

青山学院女子短期大学教授。1988年東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退。1984～88年パリ第4大学博士課程留学。専攻はフランス近世美術史。フランス旧体制期の美術を、文化的・社会的環境とともに考察することをテーマとしている。著書に、『フランス近世の美術』(財務省印刷局)など。

### 羽仁 知治 (はに ともはる)

ピアニスト。自由学園男子部高等科卒業後、プロとしての活動を開始し都内ライブハウス等で演奏活動を経験。またテレビ・映画・ラジオ番組の音楽制作及び出演など、商業音楽分野にて幅広く活躍する。現在までにコンピレーションも含め10作品を超えるCDを発表、2011年2月23日にはWARNER MUSIC INC.からアルバム「Cafe Standard Piano」HANIがiTunes Storeでのダウンロード発売を開始され、iTunes Storeジャストアルバムチャートで5位にランクインした。

# ◆区民カレッジ版江戸時代史 (生涯学習基礎講座歴史編)

**主 題** 江戸時代の歴史を最初から最後まで通してもう一度学びたい、必須の基礎知識を再確認したい、という方のために、江戸時代の通史を講義します。テキストは、昨今ベストセラーとなっている社会人のための高校教科書『もういちど読む山川日本史』(五味文彦・鳥海靖編、山川出版社)を使用します。また、現在の中央区は江戸時代の首都江戸の中心部にあたるため、中央区にゆかりの深い人物や史跡がしばしば江戸時代史には登場します。そうした歴史エピソードも取り上げながら、中央区から眺めた江戸時代史にもふれていきます。今期の講座では江戸時代の後半を扱います。江戸時代の前半を取り上げた本年度前期の講座の続きです。ただし、各回ごとにまとめた内容の講義を行いますから、後期になって初めて受講されても大丈夫です。

## 講座番号 ①-2

時 間：午後6時30分～8時  
場 所：築地社会教育会館  
回 数：6回  
受講料：1,800円  
定 員：60名

※この講座ではテキスト『もういちど読む山川日本史』を使います。  
お持ちでない方は初回までにご自身でお買い求めください。

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	10/ 7 (金)	産業の発達 町人の経済活動	小林 信也
第2回	10/21 (金)	享保の改革 田沼時代	高尾 善希
第3回	11/11 (金)	寛政の改革 天保の改革	小林 信也
第4回	11/25 (金)	化政文化 新しい学問	竹村 到
第5回	12/ 2 (金)	黒船来たる	高尾 善希
第6回	12/16 (金)	攘夷から倒幕へ	竹村 到

## 講 師 紹 介

### 小林 信也 (こばやし しんや)

東京女子大学現代教養学部講師。東京大学大学院博士課程単位取得満期退学。博士(文学)。近世から近代の都市史研究が専門。主な著書『江戸の民衆世界と近代化』(山川出版社、2007年)その他。

### 高尾 善希 (たかお よしき)

立正大学文学部講師。立正大学大学院博士課程単位取得満期退学。博士(文学)。近世村落史および都市と村落との交流史が専門。論文「近世後期百姓の識字の問題-関東村落の事例から-」(『関東近世史研究』50号)その他。

### 竹村 到 (たけむら いたる)

東京大学史料編纂所学術支援専門職員。立正大学大学院修士課程修了。江戸時代の藩政史および幕藩関係史が専門。論文「大名預の基礎的考察」(『岡山藩研究』)、「東禅寺の歴史的概略」(『東禅寺現況確認調査報告書』)その他。



# ◆自分を地域に活かすために ～「思い」をカタチにする方法～

**主 題** これから地域活動をはじめの方へ、また現在の活動に行き詰まりを感じている方へ・・・グループワークを通じた実践的な方法で地域デビューへのアプローチを行います。

人生を振り返り、棚卸しをしながら、自分は何ができるか?何をしたいか?を探り、仲間との議論・合意形成を経て、自己実現へと向かう過程を全5回の最短距離で体感します。

地域活動は実践あるのみ!あなたも次に繋がるステップを仲間とともに駆け抜けませんか?

講座が終わる頃には、あなたのコミュニケーション能力も格段に上がっているはず。地域とは?市民とは?ボランティアとは?を考える講座です。

## 講座番号 ①-3

時 間: 午後6時30分～9時  
場 所: 築地社会教育会館  
回 数: 5回  
受講料: 1,500円  
定 員: 20名

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	9/ 9(金)	やりたいことを形に・・・自分の得意を活かす! ～人生の棚卸しワーク～	森 良
第2回	9/30(金)	地域ニーズを探る! ～カード式整理法を使ったワーク～ 地域活動の先輩に話を聞こう! ～ボランティアとは?地域活動とは?～	
第3回	10/14(金)	「思い」をカタチにするには? ～マインドマップによるプランニング～	
第4回	11/ 4(金)	活動プランづくり ～プレゼン用ポスター制作～	
第5回	11/18(金)	プレゼン大会 ～地域に自分を売り込み、アドバイスをもらおう～	

## 講 師 紹 介

### 森 良 (もり りょう)

学びと参加をつなぐコーディネーター。NPO法人エコ・コミュニケーションセンター代表。「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J)理事(地域ネットワークプロジェクトリーダー)

子どもたちの自然教室のボランティアリーダーを10年、環境教育・環境まちづくり・市民参加を応援するNPOを18年実践。各地でボランティア養成講座やファシリテーター養成講座の講師を務める。現在、日本・アジア地域のコーディネーター育成に力を注いでいる。主な著書に『新版ファシリテーター入門』(ECOM・1997年)、『コミュニティ・エンパワメント』(ECOM・2001年)、『力を引き出すもりもりファシリテーション』(まつやま書房・2007年)ほか。





# ◆中央区老舗物語

**主 題** 新しさと伝統が共存するまち中央区。その中でも銀座は明治以降、ガス灯、柳並木、乗合馬車が文明開化の先端を切り、やがて、カフェやバー、高級店の建ち並ぶ日本一の繁華街へと発展しました。

この講座は、そんな中央区の歴史の中で暖簾を守り続けてきた「老舗」の物語です。今回は銀座を中心に老舗の創業の歴史や、「銀座」というまちへの思い入れ、社長さんの人生哲学などをたっぷり語っていただきます。

また、まち歩きガイドによる老舗めぐりを楽しみながら、老舗の味に触れてみましょう。

## 講座番号 ①-4

時 間：午後2時～3時30分

※第5回は午後2時～4時

場 所：築地社会教育会館ほか

回 数：5回

受講料：1,500円

定 員：45名

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	9/21 (水)	伊東屋のミッション	株式会社 伊東屋 伊藤 明
第2回	10/ 5 (水)	銀座で105年、お客様のために	株式会社 銀座ヨシノヤ 矢代 恒夫
第3回	10/19 (水)	120年テーラーを支えた現場主義	株式会社 高橋洋服店 高橋 純
第4回	11/ 2 (水)	近代美容の先駆け	株式会社 遠藤波津子美容室 遠藤 彬
第5回	11/16 (水)	老舗めぐり	文化財サポーター

## 講 師 紹 介

### 伊藤 明 (いとう あきら)

株式会社伊東屋代表取締役社長。1964年東京都に生まれる。慶應義塾大学法学部卒業後アートセンターカレッジオブデザイン(米国)で工業デザイン専攻。1991年株式会社伊東屋入社。2007年代表取締役社長就任。伊東屋オリジナル商品開発にも携わる。2007年より銀座通連合会常務理事、2009年より全銀座会催事委員会委員長。

### 矢代 恒夫 (やしろう つねお)

株式会社銀座ヨシノヤ相談役。1931年東京都に生まれる。1955年に株式会社ヨシノヤ靴店入社。1992年株式会社銀座ヨシノヤの設立に伴い代表取締役副社長、代表取締役社長、2007年代表取締役会長、2010年相談役に就任。

### 高橋 純 (たかはし じゅん)

株式会社高橋洋服店代表取締役社長。1949年銀座4丁目に生まれる。慶應義塾大学経済学部卒業後、1972年株式会社高橋洋服店入社と同時に日本洋服専門学校に入学。1976年LONDON COLLEGE OF FASHION BESPOKE TAILORING COURSEを日本人として初めて卒業。1982年取締役、専務取締役を経て、1991年代表取締役に就任。2001年より銀座通連合会常務理事、2004年より銀座街づくり会議評議員。著書『黒』は日本の常識、世界の非常識一図解 恥をかかないフォーマルウェア入門(小学館101新書)

### 遠藤 彬 (えんどう あきら)

遠藤波津子グループ代表取締役社長。1943年東京都に生まれる。慶應義塾大学商学部卒業後、札幌テレビ入社。1973年遠藤波津子美容室入社。1982年遠藤商事株式会社社長就任。1993年株式会社遠藤波津子美容室・株式会社ハツコエンドウウェディングス代表取締役社長就任。2003年から2009年まで全銀座会代表幹事、銀座通連合会理事長、銀座街づくり会議評議会議長を経て現在は銀座通連合会副会長。

# ◆緊急企画・東日本大震災を考える

**主 題** 2011年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震。それに伴って発生した津波、及びその後の余震により引き起こされた東日本大震災。この大震災で我々はかつてない混乱を経験し、再び起こるかもしれない次の大地震や放射能問題に不安を抱く毎日を過ごしています。

そこで、この講座ではこれらの不安を少しでも取り除くべく、この大震災直後にいち早く公開シンポジウムを開催した東洋大学の協力をえて、「電力」「防災」「放射線」「再建」という側面から、専門家に現状や今後についての解説をしていただきます。

今回の講座を機に、これからの生活や社会のあり方を見つめ直してみませんか？

企画協力：東洋大学

## 講座番号 ①-5

**時 間**：午後6時30分  
～8時30分  
**場 所**：築地社会教育会館  
**回 数**：6回  
**受講料**：1,800円  
**定 員**：60名

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	9/27 (火)	生活の再建とところのケア	白石 弘巳
第2回	10/ 4 (火)	変動地形学の見地から見た東日本大震災の現状と特質 -今後の防災対策に向けて	渡辺 満久
第3回	10/11 (火)	放射線とは何か?放射線とその測定原理	本橋 健次
第4回	10/18 (火)	放射線と健康被害-発がんリスクと放射線	加藤 和則
第5回	11/ 8 (火)	安全・安心・防災とシュミレーション	矢川 元基
第6回	11/15 (火)	新エネルギーはエネルギーの主役となりえるのか -地球温暖化問題の行方と方向は	久留島 守広

## 講 師 紹 介

### 白石 弘巳 (しらいし ひろみ)

東洋大学ライフデザイン学部教授。医学博士。精神科医療機関、東京都精神医学総合研究所などを経て、2005年より現職。主な研究領域は、精神保健福祉法と関連法制度(成年後見制度など)、精神障害をもつ当事者・家族の回復支援。著書に『家族のための統合失調症入門』(河出書房新社)、『統合失調症からの回復を支える』(星和書店)など。

### 渡辺 満久 (わたなべ みつひさ)

東洋大学社会学部教授。活断層の分布・活動度などを明らかにする変動地形学が専門。最近、原子力関連施設周辺において活断層が過小に評価されている問題を指摘。東京大学大学院理学系研究科修了(理学博士)。著書に『日本の活断層』(東大出版会)、『活断層地形判読』(古今書院)などがある。

### 本橋 健次 (もとはし けんじ)

東洋大学理工学部生体医工学科准教授。理化学研究所客員研究員。東京農工大学大学院博士前期課程修了。工学博士。日本物理学会、応用物理学会、日本医学物理学会正会員。原子衝突研究協会常任幹事。専門は原子分子物理学。『プラズマ原子分子過程ハンドブック』(大阪大学出版会)(分担執筆)。

### 加藤 和則 (かとう かずのり)

東洋大学理工学部生体医工学科教授。1991年東北大学大学院薬学研究科修了(薬学博士)。順天堂大学医学部、国立がんセンター、札幌医科大学を経て、2011年より現職。専門は免疫学、腫瘍学、遺伝子治療学で、日本癌学会評議委員、日本がん免疫学会評議委員を勤める。

### 矢川 元基 (やがわ げんき)

東洋大学計算力学研究センター長・大学院教授。東京大学名誉教授。日本学術会議会員(総合工学委員会委員長)。韓国成均館大学校客員教授。東京大学大学院工学系研究科修了。2009年に日本学士院賞を受賞。編著書として『パソコンで見る流れの科学』(ブルーバックス、講談社)ほか多数。

### 久留島 守広 (くるしま もりひろ)

東洋大学国際地域学部教授、(社)全国石油協会理事。京都大学大学院工学研究科修了。通商産業省入省。資源部長、ロンドン駐在等エネルギー・環境部門を歴任、1997年米環境庁よりオゾン層保護に関し研究表彰受賞。2003年退官し現職。

# 名橋日本橋 架橋100年記念 ◆記憶をつなぐ日本橋



**主 題** 新しさと伝統が共存するまち中央区は、江戸時代から日本橋を中心に商業が繁栄し、金融・経済・文化・情報の面で常に時代の最先端を歩んできました。

その街の象徴である現在の日本橋が架橋されて今年でちょうど100年になります。100周年を記念して、歴史・建築・美術・絵画・街の未来などの多方面から日本橋を細見します。また、郷土天文館と連携企画も同時開催し、架橋100周年を盛り上げます。最終日は、ガイドとともに江戸からの記憶をつなぐ日本橋界隈を散策し、日本橋川のクルージングでひとあじ違った日本橋の歴史を感じてください。

※最終日は突然の天候悪化や船の不調等で、コースの変更や運行を中止する場合がありますので、予めご了承ください。

## 講座番号 ①-6

時 間：午後2時～4時

※第5回は午後1時～4時30分

場 所：日本橋社会教育会館ほか  
※第4回は郷土天文館、第5回は  
滝の広場に現地集合・現地解散

回 数：5回

受講料：1,500円

乗船料：1,500円

定 員：30名

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	9/29 (木)	日本橋学事始め	五藤 寿樹
第2回	10/13 (木)	明治44年の日本橋とその装飾	金山 弘昌
第3回	10/27 (木)	描かれた日本橋と日本橋川	我妻 直美
第4回	11/10 (木)	郷土天文館 特別展ギャラリートーク	文化財調査指導員
第5回	11/17 (木)	まち歩きと川からみる日本橋 ～お江戸日本橋めぐり～	江戸東京再発見コンソーシアム 中央区文化財サポーター

## 講 師 紹 介

### 五藤 寿樹 (ごとう ひさき)

日本橋学館大学教授、同大学日本橋学研究所所長。1954年名古屋市生まれ、筑波大学大学院退学。著作に「国分株式会社とグリーン物流」「劇場経営としての明治座の研究」等の日本橋研究や同研究の講演を行っている。

### 我妻 直美 (わがつま なおみ)

江戸東京博物館学芸員。学習院大学人文科学研究科博士前期課程修了。博士(哲学)。日本近世絵画史専攻。担当展覧会「隅田川～江戸が愛した風景～」 「日本橋～絵画でたどる歴史～」 「写楽～幻の肉筆画～」 「北斎」ほか。

### 金山 弘昌 (かなやま ひろまさ)

慶應義塾大学文学部准教授。慶應義塾大学文学研究科後期博士課程単位取得満期退学。修士(美学)。専門は西洋美術史・西洋建築史。1995年度イタリア政府給費留学生として、フィレンツェ大学留学。共著・共訳書は『彫刻の解剖学―ドナテッロからカノーヴァへ』(ありな書房、2010年)、ジャン・リュデル『イタリア・ルネサンス絵画』(白水社、2010年)ほか。論文は「妻木頼黄と日本橋の装飾(2)：明治44年における『日本趣味』の文脈」(『日本橋学研究』第3巻1号、2010年)など。



日本橋開橋記念絵葉書  
(京橋図書館所蔵)



# ◆映画祭を探る、解く、楽しむ

まなびのコース(きほんの講座)

**主 題** 映画予告などで「カンヌ映画祭金獅子賞ノミネート!」「本年度アカデミー賞作品賞受賞」というコピーをよく目にしますが、この映画祭って一体、何時頃から始まったのでしょうか?以前はこれほど映画祭って目につかなかったな…とお思いの方も多いのでは?世界中が注目するアカデミー賞にはどうして国際とか映画祭とか付かないのでしょうか?

お馴染みの映画祭の歴史や現状を通して、近現代史との思わぬ接点や、グローバル化の様相を、そして、DVDなどで身近に鑑賞できる受賞作を通して映画というメディアの成長過程を再認識していただくと同時に、講座の開講中に開催される東京国際映画祭や、山形国際ドキュメンタリー映画祭を始め、各所で催される“映画祭”をより楽しむためのポイントを紹介し、映画をより深く楽しんでいただきながら映画の歴史にも興味を持っていただける映画祭探索講座です。

## 講座番号 ①-7

時 間: 午後2時~4時  
 場 所: 築地社会教育会館  
 回 数: 5回  
 受講料: 1,500円  
 定 員: 40名

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	10/ 7 (金)	映画祭の歴史~史上初の映画祭は?	野村 梓
第2回	10/21 (金)	カンヌ国際映画祭とベルリン国際映画祭、その違いは?	
第3回	11/18 (金)	ハリウッドの金看板、アカデミー賞ってどんな賞?	
第4回	12/ 9 (金)	映画祭の醍醐味ともうひとつの映画館	
第5回	12/16 (金)	映画祭の現状	

## 講 師 紹 介

**野村 梓** (のむら あずさ)

フェリス女学院大学および玉川大学非常勤講師、東京写真専門学校講師。日本映像学会会員。映画史、作品分析、監督論等を講じ、奈良日日新聞、ミュージックマガジン等でレギュラー筆者として映画評を執筆中。





# ◆体感!大人のメディア・リテラシー ~「テレビ番組」を楽しくつくって、みよう~

**主 題** 「築地市民テレビ」(架空)があったら、あなたは何を伝えたいですか?今回で3年目となる、テレビ朝日が協力して実施する体験型講座。

番組制作に携わるプロフェッショナルや研究者の講義とミニ番組制作を体験できる贅沢で充実したプログラムです。制作体験を通して「メディア・リテラシー」(情報を正しく受け取り、表現・発信する能力)を身につけます。継続の方も新規の方もどちらも楽しめる内容です。お気軽にご参加ください。

前回講座の様子は、「はい!テレビ朝日です」(毎月第1、第3日曜 午前4:50-5:20放送)の番組公式HP (<http://www.tv-asahi.co.jp/hai/>)で動画配信中です。

※今回も、同番組で取材・放送を予定しています。

## 講座番号 ①-8

時 間:午後2時~4時

※第2回は午後1時30分~3時30分

場 所:築地社会教育会館ほか

※第2回はテレビ朝日に現地集合・現地解散

回 数:4回

受講料:1,200円

定 員:30名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/12 (水)	メディアリテラシーと市民メディア	小林 一枝 ほか
第2回	10/26 (水)	テレビ朝日 館内見学	テレビ朝日社員
第3回	11/ 9 (水)	番組制作・表現系実習	上野 敦史 ほか
第4回	11/30 (水)	最終合評会・まとめ	村上 信夫+ゲスト

## 講師紹介

### 小林 一枝 (こばやし かずえ)

テレビ朝日アナウンサーとして、「アフタヌーンショー」の司会や、情報バラエティ番組の司会、ニュース・キャスターなどを担当。秘書室などを経て、2009年6月から広報局お客様フロント部。アナウンサースクール「テレビ朝日アスク」では、1999年から「話し方教室」の講師を勤める。

### 上野 敦史 (うえの あつし)

“みなさんとともにテレビを考える番組”「はい!テレビ朝日です」プロデューサー。テレビ朝日入社以来、報道局「ニュースステーション」ディレクター、編成局編成部、社長室メディア戦略部、イベント事業部(ロックコンサート担当)などを経て、2008年から現職。民放連メディアリテラシー実践プロジェクト委員。

### 村上 信夫 (むらかみ のぶお)

放送作家・立教大学社会学部大学院生(研究テーマ:不祥事報道・メディアリテラシーなど)。「はい!テレビ朝日です」などの番組構成を担当。「犯罪心理学者花見小路珠緒」シリーズを電子出版で発行中。著書「会社をつぶす経営者の一言」(中央公論新書)、「子どもの安全これで安心」(グラフ社)ほか。

※その他 テレビ朝日社員が随時参加します。

## 会場図



### 【交通】

- 東京メトロ日比谷線「六本木駅」より 徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線「六本木駅」より 徒歩6分
- 東京メトロ南北線「麻布十番駅」より 徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線「麻布十番駅」より 徒歩7分

港区六本木6-9-1





2/6、2/13を除く

# ◆文楽の世界を楽しむ

**主 題** 日本の伝統芸能で、ユネスコ無形文化遺産でもある文楽(人形浄瑠璃)について、その魅力を5回にわたり紹介します。今までご覧になったことがない方、見巧者の方もぜひご参加ください。文楽の歴史から、人形、義太夫、三味線、見どころ聞きどころの解説、舞台鑑賞まで、文楽をまるごと楽しめる講座です。

第1回~3回の講義では、現在活躍中のイヤホンガイド解説者がわかりやすく楽しく文楽の世界へ誘います。第4回は技芸員の方のお話、第5回は文楽公演鑑賞です。観劇前に、文楽を陰で支える裏方さんの話を聞きます。普段は聞けない話や、舞台裏の話が聞けるチャンスです。

※企画協力：国立劇場、株式会社イヤホンガイド

## 講座番号 ①-9

時 間：午後2時~4時

※第4,5回は午前10時~

場 所：築地社会教育会館ほか

※第4,5回は国立劇場

回 数：5回

受講料：1,500円

観劇料：5,130円

イヤホンガイド代：400円

(希望者のみ)

定 員：60名

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	1/16 (月)	文楽の歴史について	高木 秀樹
第2回	1/23 (月)	世界一の人形芝居	
第3回	1/30 (月)	名作鑑賞の勘どころ	
第4回	2/ 6 (月)	技芸員による解説	
第5回	2/13 (月)	観劇 ~裏方の仕事の解説付~	国立劇場職員

## 講 師 紹 介

高木 秀樹 (たかぎ ひでき)

イヤホンガイド解説者。歌舞伎・文楽研究家。大学講師。NHK教育テレビ「文楽鑑賞入門」講師もつとめる。著書に『あらすじで読む名作文楽50』(世界文化社)。

## 会 場 図



2010年2月文楽公演写真(国立劇場提供)